

2008 年度

科目名 ゼミナールⅠ	対象学科・学年 教育教福3回生	担当者 三宅 奎介
授業テーマ 子どもの視点から学校の現状を分析し、課題解決のための方策を具体的に考える。		
授業の概要と目標 豊かな文明社会の中で、子どもの「生きる力」は損なわれている。第3の教育改革が叫ばれて久しい。教育再生会議の第1次報告は学校改革に結びつくのか。子どもたちにとってどうなのか。さらに、いじめや不登校問題をどう打開し、解決するのか。授業では学力問題をはじめ、学校の抱えているさまざまな問題を取り上げ、子どもたちが「楽しい学校、分かる授業」と感じられる学校をどうしたら構築できるのかを考える。あわせて、自らの指導力を育成する。		
評価方法 授業態度（意欲・関心）と実践内容（調査・プレゼン・レポート）で評価する。		
テキスト 大阪は教育をどのように変えようとしているのか	著者 成山治彦	出版社 明治図書
参考書 小学校学習指導要領 小学校学習指導要領解説（総則編）	著者 文部科学省	出版社
授業スケジュール・内容 第1講 日本の子どもの学力は低下しているのか。（講義） ・「ゆとり教育」は学力低下の犯人か ・PISA 学力をどう見るのか 第2講 いじめ、不登校問題をどう解決していくのか（講義） ・いじめっ子は悪い子か ・「出席停止」をどう考えるのか ・不登校はどう解決するのか 第3講 学校はどのように取り組んでいるのか1 ・実習体験をもとにレポート討議Ⅰ 第4講 学校はどのように取り組んでいるのか2 ・実習体験をもとにレポート討議Ⅱ 第5講 地域との連携は何を求めているのか（講義） ・「おらが学校、なんでもするよ」 ・学校評議員 第6講 学校は会社組織と違う？（講義） ・協力協働がなぜ大切か ・教育法規 第7講 授業をどう変えていくのか。教科書をどう見るのか ・授業体験をもとにレポート報告Ⅲ 第8講 習熟度別授業は新しい形態か ・授業体験をもとにレポート報告Ⅳ 第9講 授業づくりはクラスづくりと関係あるのか ・授業体験をもとにレポート報告Ⅴ 第10講 「新しい人権教育」の中身は何なのか ・大阪の事例（地域と人権） 第11講 学校の危機管理とは何をさすのか（講義） ・不審者侵入 ・情報管理 第12講 教育改革は何をしようとしているのか ・中教審答申 ・教育再生会議 第13講 実践アクセス講義 これからの教師に大切なものはなにか（ゲストティーチャー講和） ・授業体験をもとにレポート報告Ⅵ 第14講 これからの教育で大切なものはなにか ・授業体験をもとにレポート報告Ⅶ 第15講 授業のまとめと自己評価		